

がん治療を受けながら、働き方や職場復帰について考えるときにご覧いただければと思い、

「がんと仕事のQ&A」

編集・発行 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
の内容を抜粋し、紹介します。

面接時にがんの治療歴を隠して採用された場合、
あとで何か問題になることはありますか？



ないとは断言できません。問題になるかどうかは、隠したことを「就労に影響する重大な事実を偽った」と会社側が判断するかどうかによります。たとえば、副作用で急激に身体が動かなくなるような病状がある場合、事務職としてはほぼ問題なく勤務できるくらいでしょうが、公共交通機関の運転手としては不適切とみなされるでしょう。「就労に影響する重大な事実を偽って入社した」と会社に判断されれば、最悪の場合、懲戒処分となる場合もあります。がんに限らないことですが、ここでも重要なのは、仕事を安全かつ確実にこなす能力があるかどうかです。

